

一人ひとりによりそえる地域へ
～ともにいる日常を育む～

「ひとりにはしない」という支援

2022年12月8日第7回 よこはま地域福祉フォーラム

NPO抱樸 奥田知志

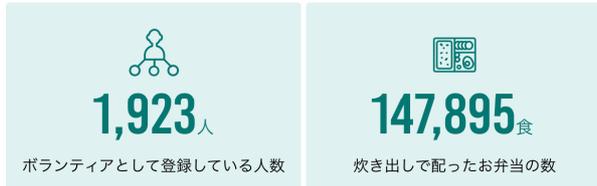
東八幡キリスト教会
ホームレス支援全国ネットワーク
全国伴走型支援推進協会
全国居住支援法人協議会
日本福祉大学 客員教授

NPO抱樸
共生地域創造財団
生活困窮者自立支援全国ネットワーク
全国日常生活支援住居施設協議会

抱樸(ほうぼく)

「ひとりにはしない」という支援

- ・ 老子の言葉「素を見し樸を抱き」
- ・ 樸＝原木/荒木のまま抱く
- ・ 原木/荒木は無限の可能性を持つ
- ・ 荒木ゆえに傷つく＝絆は傷を含む

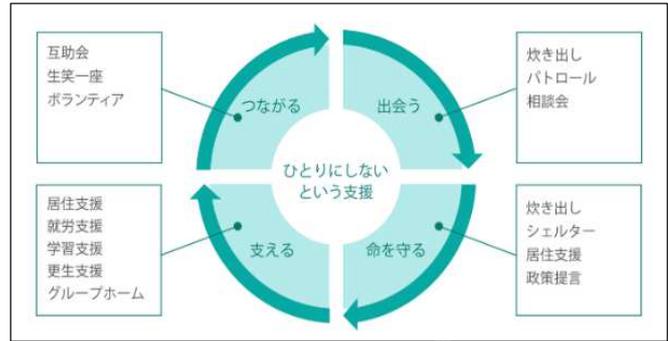


社会に居場所がない、困っているのに、「助けて」と言える誰かがいない。生きることに疲れ果て、自分が困っていることにさえ気づけない。— 私たちの周りには、見えるところにも、そして見えないところにも、多くの孤立と困窮の現実があります。

私たちは、誰も取り残されない社会をつくりたい。誰もがありのままの状態を受け入れられる社会をつくりたい。「自己責任」と、家族の役割ばかりが大きくなっていく風潮の中で、何の心配もせずに「助けて」と言える社会をつくりたい。

32年の活動を通して、ホームレスの数は減少しました。路上で生活する人が減っても、見えない貧困は増えています「ネットカフェ難民」という言葉に象徴されるような、見えづらくなった貧困。そして、本当に困ってしまったときに頼れる他者がいないという社会的な孤立。

貧困、格差、そして孤立はもはや常態化しています。もし、いざと言うときに頼れる人が誰も思い浮かばなかったら、あなたも「家のあるホームレス」かもしれません。私たちはそんな社会をどうしても変えたい。北九州から日本中に、誰も孤立しない社会を広げます。



NPO法人ほうぼく — 抱撲

制度と非制度
を組み合わせた
27の事業展開



実施事業	
自主事業	1 炊き出し委員会
	2 子ども・家族まるごと支援事業
	3 自立支援住宅委員会
	4 サポート委員会
	5 広報委員会
	6 互助会
	7 抱撲館北九州（生活相談・レストラン・配食）
	8 生活サポートセンター小倉
	9 生活サポートセンター八幡
	10 見守り支援付住宅 プラザ抱撲
	11 金銭管理支援事業
	12 居宅設置支援の会 事務局
	13 ホームレス支援法律の会 事務局
	14 地域生活定着支援協議会 事務局
	15 総務部
	16 経理部
制度事業	17 グループホーム抱撲
	18 デイサービスセンター抱撲
	19 多機能型障がい作業所ほうぼく
	20 B型作業所ほうぼく
委託事業	21 巡回相談事業（北九州市）
	22 生活相談事業（北九州市）
	23 日雇い労働者等技能講習事業（厚生労働省）
	24 自立相談・家計・子ども支援事業（中間市）
	25 就労準備支援事業（北九州市）
	26 刑余者・地域生活定着支援センター（福岡県）
	27 再犯防止立ち直りサポートセンター（福岡県）



抱樸が
大切にしてきた
こと

ハウスレスとホームレスは違う

- 経済的困窮（ハウスレス）
- 社会的孤立（ホームレス）

何が必要か・誰が必要か

- 住む場所
- 支援
- 家族

人を制度（属性）で見ない

- 目の前のひとりと向き合う
- 制度か非制度かに関わらず、その人に必要なことを、できることを考える

出会いから看取りまで

- 出会った責任
- 伴走型支援
- 互助会葬

多様な事業展開

一人ひとりに向き合った結果
27の事業を運営

家族機能の社会化を实践

「支援」の関係を越えて
家族のような機能を
組織が担う取り組みの实践

政策提言

現場で培った知見と経験を
仕組み化し、社会全体の資産に

助けてと言えない
人間とは何か？

抱樸の34年間👉 自立支援



自立は独りで
生きられる力？

自立支援👉「社会復帰」

しかし、

復帰したい社会か？

社会から漏れる人々

499人 過去最悪（2020年） 前年100人増

「家庭不和」12.3%
「父母からのしっせき」9.0%
「進路問題」8.4%
「いじめ」2.7%
最多は・・・
「不明」58.4%

（文部科学省「問題行動・不登校調査」2018年度）

**子どもたちは、
なぜ「助けて」が言えない？**

**背景に大人社会の実相
「他人に迷惑をかけてはいけない」
「自己責任」**

**「自立」とは、
ひとりで生きていく事？
熊谷慎一郎（東大教授）
の言葉
「依存先を増やすこと」**

サルと人間の違い 進化とは？

サルの赤ちゃんは笑わない
誇り高き人間の証し

「助けて！」
地域づくりのキーワード



自尊感情と自己有用感
健全なる相互依存
自己責任が取れるまち

社会的孤立と 伴走型支援

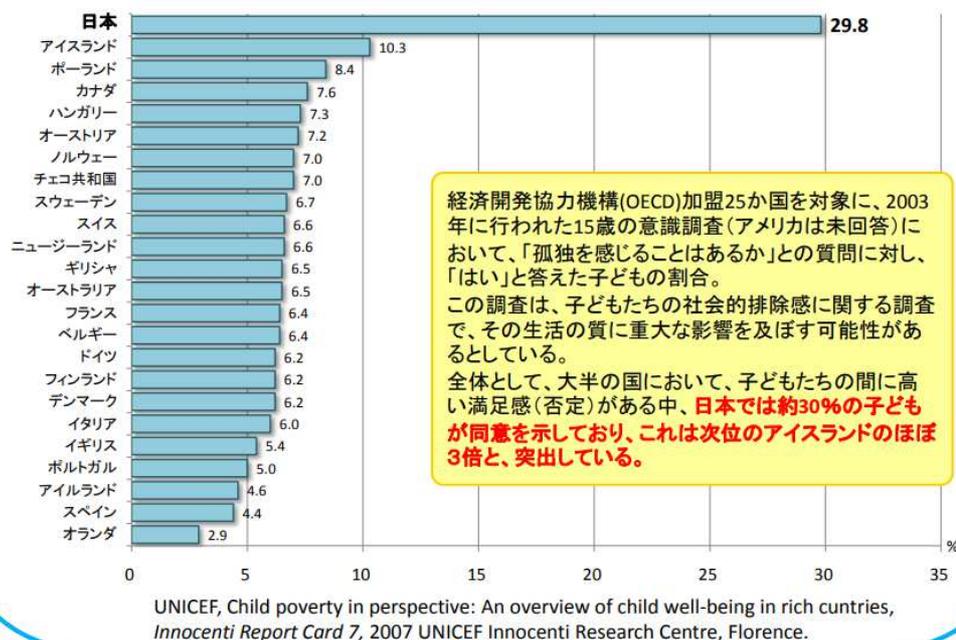
33年前、炊き出し開始
炊き出しをする意味とは？



いのちを守るため？
少々盛っている感アリ
「ともだちの家に行くのに
手土産一つ持っていかないか？」
ともだちになること

3700人以上が自立👉しかし9割以上が亡くなっても家族は来ない
ともだち👉出会いから看取りまで・ともだちとは葬式に来て弔辞を言う人

「孤独を感じる」と答えた子どもの割合



経済開発協力機構(OECD)加盟25か国を対象に、2003年に行われた15歳の意識調査(アメリカは未回答)において、「孤独を感じることはあるか」との質問に対し、「はい」と答えた子どもの割合。
この調査は、子どもたちの社会的排除感に関する調査で、その生活の質に重大な影響を及ぼす可能性があるとしている。
全体として、大半の国において、子どもたちの間に高い満足感(否定)がある中、**日本では約30%の子どもが同意を示しており、これは次位のアイスランドのほぼ3倍と、突出している。**

■若者の死因【2020年自殺白書】
年代別の死因順位⇒15～39歳
第1位自殺⇒先進国(G7)では日本のみ

■子どもの自殺要因
⇒6割不明
⇒なぜ、「助けて」と言えないのか？自己責任論社会

■助けてと言える日常が必要

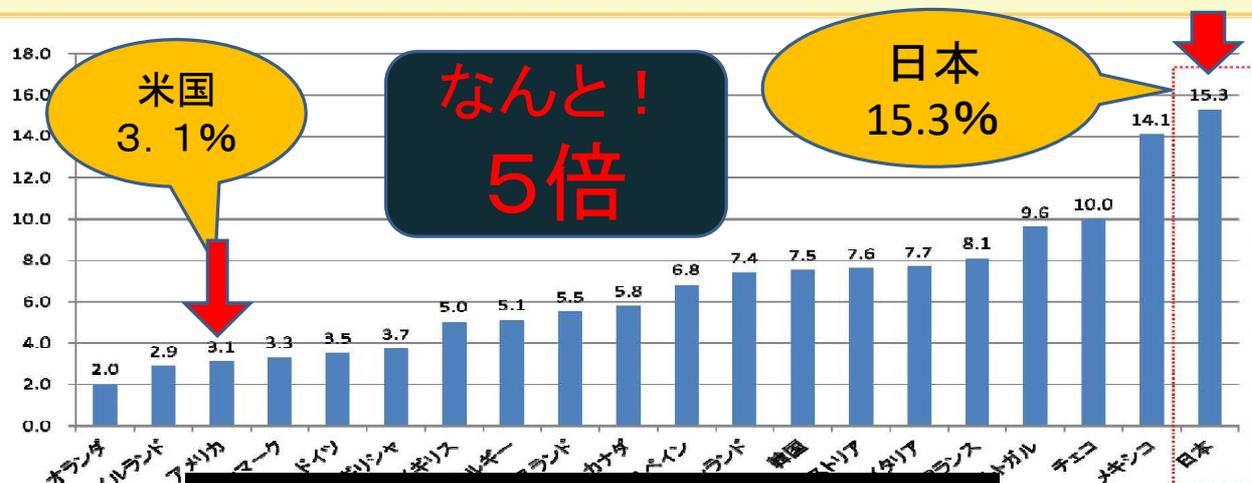
出典：https://www.city.chiba.jp/kodomomirai/kodomomirai/kikaku/documents/04_kodokukan.pdf

社会的孤立の調査 OECD諸国の比較

※相対的貧困率(2012年) 米国17.4% 日本16.1%

「家族以外の人」と交流のない人の割合 (国際比較)

○ 日本では「友人、同僚、その他の人」との交流が「全くない」あるいは「ほとんどない」と回答した人の割合が15.3%あり、OECDの加盟国20か国中最も高い割合となっている。



(注) 友人、職場の同僚との交流が「全くない」

米国⇒金はないが、友達はある
日本⇒金もないが、友達もいない

「ほとんどない」と回答した人の割合が15.3%あり、OECDの加盟国20か国中最も高い割合となっている。
Glance:2005 edition,2005,p8

地域共生社会の議論から

(「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」最終とりまとめ 令和元年 12 月 26 日)

1 地域共生社会の理念とその射程

○日本の社会保障は、他の先進諸国同様に、人生において典型的と考えられるリスクや課題を想定し、その解決を目的として、それぞれ**現金給付**や福祉サービス等を含む**現物給付**を行うという基本的なアプローチの下で、公的な保障の量的な拡大と質的な発展を実現してきた。

日本の社会保障

➡現金給付と現物給付

つながりとケア

➡家族・地域・会社

○その一方で、個人や世帯が抱える**生きづらさやリスクが複雑化・多様化**している。例えば、**社会的孤立など関係性の貧困の社会課題化**、ダブルケアやいわゆる8050問題など複合的な課題や人生を通じて複雑化した課題の顕在化、就職氷河期世代の就職困難など雇用を通じた生活保障の機能低下などの変化が見られている。

➡新しい問題・・・課題の複合化・社会的孤立

➡背景・・・雇用不安定化・家族脆弱・地域崩壊

※社会的孤立の解消・関係の構築＝伴走型支援

2018年1月18日英国「孤独問題担当大臣」新設 国家損失年間4.9兆円（320億ポンド）

英国の孤立率 5%（日本15.3%）

※孤独の健康被害⇒肥満・一日に15本喫煙よりも有害

①英国対比 日本・・・人口約2倍 孤立率・・・約3倍

※単純計算で30兆円の国家損失

②英国医療現場⇒『Social prescribing(社会的処方)』

『薬』ではなく『社会関係』(の改善策)を処方する・・・医療費20%縮小

③三木清「人生論ノート」から・・・**孤独は街にある**

「孤独といふのは獨居のことではない。獨居は孤独の一つの条件に過ぎず、しかもその外的な条件である。むしろひとは孤独を逃れるために獨居しさをするのである。」

「**孤独は山になく、街にある。一人の人間にあるのではなく、大勢の人間の『間』にあるのである。孤独は『間』にあるものとして空間の如きものである。「真空の恐怖」—それは物質のものでなくて人間のものである。**」



小倉将信（おぐらまさのぶ）孤立孤独担当大臣



コロナ禍による「孤独」への危機感を打破するヒントとは？
第7回「孤独論」5月14日（金）【Eテレ】後10:00

池田 昌弘
NPO法人全国こどもケアライフサポートセンター理事長
つながりを切らない！
障害者や工業で、家族、友人、近所が役にたかない場合は、地域に、親身なサポートを専門職と一緒にやっていきましょう！

栗林 知絵子
NPO法人豊島子ども育ち作り隊A&Uネットワーク理事長
孤独の子どもも見守り育てることができるのは、近所に住む地域住民です。
当事者として「住むのが」とまよって、あなたの一言が、子どもの未来を支えます。

大室 幸星
NPO法人あなたのいぼしよ代表
「あなたのせいではありません。」
誰かに頼るのは、恥ずかしいことも無いし、むしろ恥でなければいいと思える社会を共に目指しましょう。

奥田 知志
NPO法人他種理事長
経済的困窮と社会的孤立を同時に解消する仕組みが必要です。「この人には何が必要か」と共に「この人には何が緊急的」を問い続ける仕組みを作りたい。

山本 広明
一般社団法人全国フードバンク推進協議会事務局長
「困ったときはお話しし、一人で悩まず、声を上げてください」

あなた一人じゃないII
孤独・孤立を防ぎ、不安に寄り添い、つながるための緊急フォーラム メッセージ集

清水 康之
NPO法人自殺対策支援センターライフリンク代表
新しいつながりが、新しい解決を生む。
誰もが安心して助けを求めたい。不安な状況だからこそ、「誰もが安心できる場所を創る社会」の実現へ。

湯浅 誠
NPO法人全国こども食支援センター・むすびえ理事長
人は誰でも「つながりつづける力」を備えている

橋 ジュン
NPO法人BONDプロジェクト代表
生きづらさを感じている女の子たちへ、落ち着かせたい。助けを求めたい。安心して心を開ける場所を創りたい。

飯部 幸徳
学校法人飯部学園理事長
コロナ禍ではオンラインでもいいので、週に1回、おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に遊ぼうとしましょう。

中川 翔子
作家・タレント
今はみんなできつになって協力し合うことが大事。悩んでることも、平気な顔している人にも打ち明けて。あなたは一人じゃない、手を取っただけでいい。

出席政府関係者

- ・総理大臣
- ・官房長官
- ・文科大臣
- ・厚労大臣
- ・国交大臣
- ・農水大臣
- ・環境大臣
- ・孤独・孤立担当大臣

二〇二一年2月25日（首相官邸二階大ホール）
孤独・孤立を防ぎ、不安に寄り添い、つながるための緊急フォーラム

二つの困窮と二つの支援論

経済的困窮と社会的孤立

解決型支援と伴走型支援

孤立のリスクとは？

①「自分自身からの疎外」

- ☞ 人は、他者を通して自分の状態を知る。
- ☞ 自分とは何か、自分の存在意義、さらに自分の状態さえ正確に認識することが困難となり「自己認知不全」を起こす

②「生きる意欲・働く意欲・動機の低下」 ☞ 物語が生まれない

- ☞ 「何のために働くのか」・・・内発的な動機
- ☞ 「誰のために働くのか」・・・外発的な動機
- ☞ 意欲低下は自殺の危険性を高める

③「社会的サポートとつながらない」

- ☞ 良い制度も、知らない、教えてくれる人がいない、つないでくれる人がいないと存在しないと同じ
- ☞ 対処が遅れ問題が深刻化し社会保障のコストも増大する。

ホームレス支援から見た二つの困窮

1) 路上で・・・「畳の上で死にたい」

2) 自立後・・・「俺の最期は誰が看取ってくれるか」

☞ 「何が必要か」 住居、保証人、職、健康保険、携帯、弁護士

☞ 「誰が必要か」 心配してくれる人、一緒にいてくれる人、感謝してくれる人

3) 二つの困窮

☞ **経済的困窮**(ハウズレス)

※ハウスとホームは違う

☞ **社会的孤立**(ホームレス)

4) ホームレス中学生の現実(ホームレス襲撃事件)

☞ 「家があっても帰るところがない。誰からも心配されていない。

俺はホームレスだからその気持ちわかるけどなあ」

☞ 路上の風景の全国化・・・「時代が路上に追いついた」

ホームレス支援の現場での気づき➡最初のアパート設定(自立支援)

1)当時の問題意識

➡住居喪失と失業・生活保護

2)アパート入居支援+生活保護申請

3)自立後、半年でゴミ屋敷化

4)問題の所在

➡個人的要因…生活自立、知的・発達障害の有無

➡社会的要因…孤立状態

※人はいつ掃除をするか。人はなぜ掃除をするか

※行動の動機・意欲の情勢には他者の存在が必要

5)自立(問題解決)が**孤立に終わる(問題未解決)**

支援の両輪

①問題解決を目指す

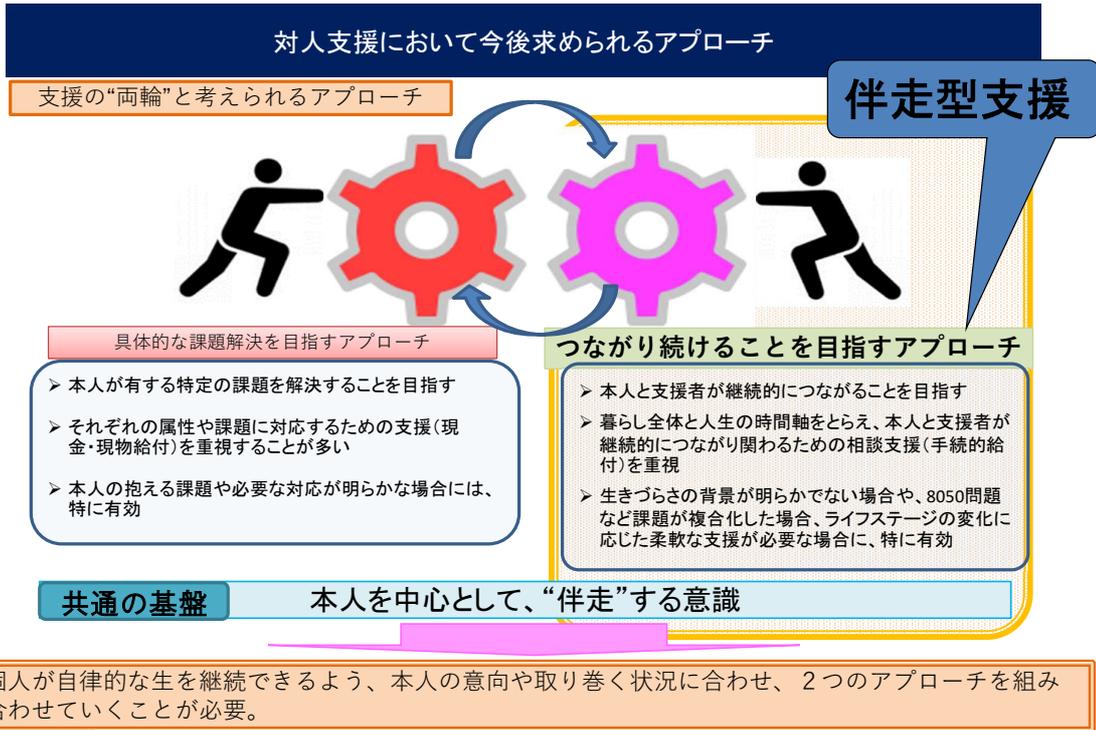
➡解決型支援

②つながり続けることを目指す

➡伴走型支援

(厚生労働省重層的支援体制整備事業)

抱樸が提唱してきた孤立に着目した伴走型支援が厚労省の次年度施策に明記された。



厚生労働省令和元年12月
地域共生社会推進検討会議最終まとめ

○一人ひとりが多様で複雑な問題に面しながらも、生きていこうとする力を高め(エンパワメント)、自律的に生きていくことを支える支援
(※)自律・・・個人が主体的に自らの生き方を追求できる状態にあること

伴走型支援の効果

物語の創造

第一のスパイラル経済的困窮が社会的孤立を生む(結婚できない)

正規雇用と非正規雇用の賃金格差と社会参加

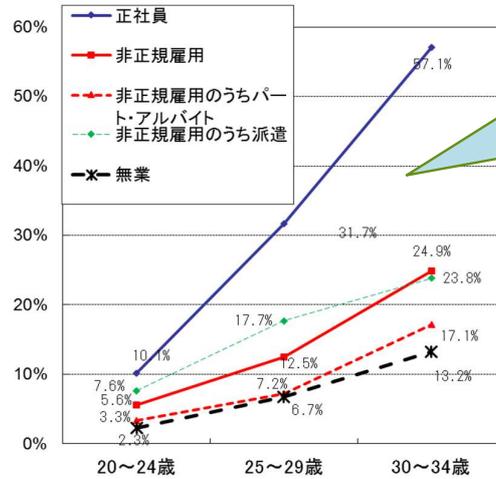
正規雇用と非正規雇用の1人当たり平均給与

	平均給与	うち正規		うち非正規		
		計	うち正規	うち非正規	計	うち正規
計	408万円	468万円	168万円		468万円	168万円
男	502万円	521万円	226万円		521万円	226万円
女	268万円	350万円	144万円		350万円	144万円

男性の正規雇用と非正規雇用では、年収は半減以下に落ちる

資料: 国税庁「民間給与実態統計調査」(2012年)

就労形態別配偶者のいる割合(男性)



男性30歳時点正規雇用既婚率約60%。非正規雇用既婚率25%半減

資料: 労働政策研究・研修機構「若年者の就業状況・キャリア・職業能力開発の現状」(2009年)より作成。

☞ 金の切れ目が縁の切れ目

第二のスパイラル

社会的孤立が経済的困窮を招く

■ 他者の存在が生きる意欲や動機付けとなる

■ 人は、何のために働くのか？

☞ お金のため、食べるため

☞ 内発的動機・・・自分が諦めたら終わり

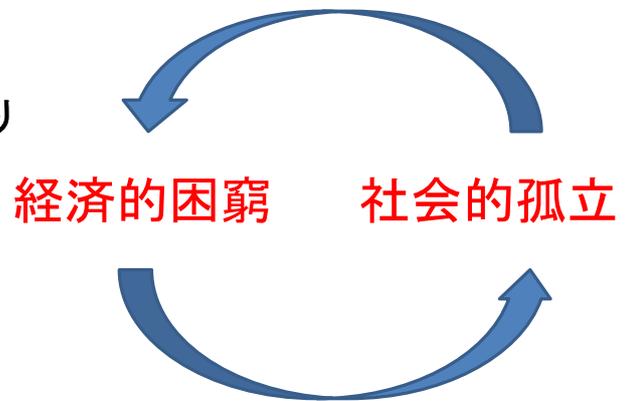
■ 人は、誰のために働くのか？

☞ 愛する人のため

☞ 外発的動機・・・踏ん張れる

■ 野宿11年の西原さんが野宿になった理由

☞ 「考えてみたら母ちゃんが出て行ったことかなあ」



※ 縁の切れ目が金の切れ目



高橋源一郎さんとの対談で つながり、ことば、物語



奥田 つながりや関係が無くなるのが問題

高橋 つながりが無くなるということは「ことばを失う」ということですね

奥田 「ことばを失う」ということは「その人の物語」が失われるということですよ

伴走型支援はの効果👉物語の創造

■物（現金・現物）を物語に変える・・・他者の存在

👉ホームレスの食事「エサ」・・・残飯「犬猫と一緒に」

👉しかし炊き出しでもらう物・・・「お弁当」

👉食べ「物」でいうと両者はあまり変わらない

👉しかし、「物」に人が関わることで「物」が「物語」となる

■社会保障とは何か？

👉「現金給付」「現物給付」が中心

👉自律支援・・・自分の物語創造のための条件整備

「人間が生まれて自律的個人へと向かって成長し、不完全ながらも自律性を保持しながら、自らの人生の物語を紡いでいくうえでの条件整備のための制度」

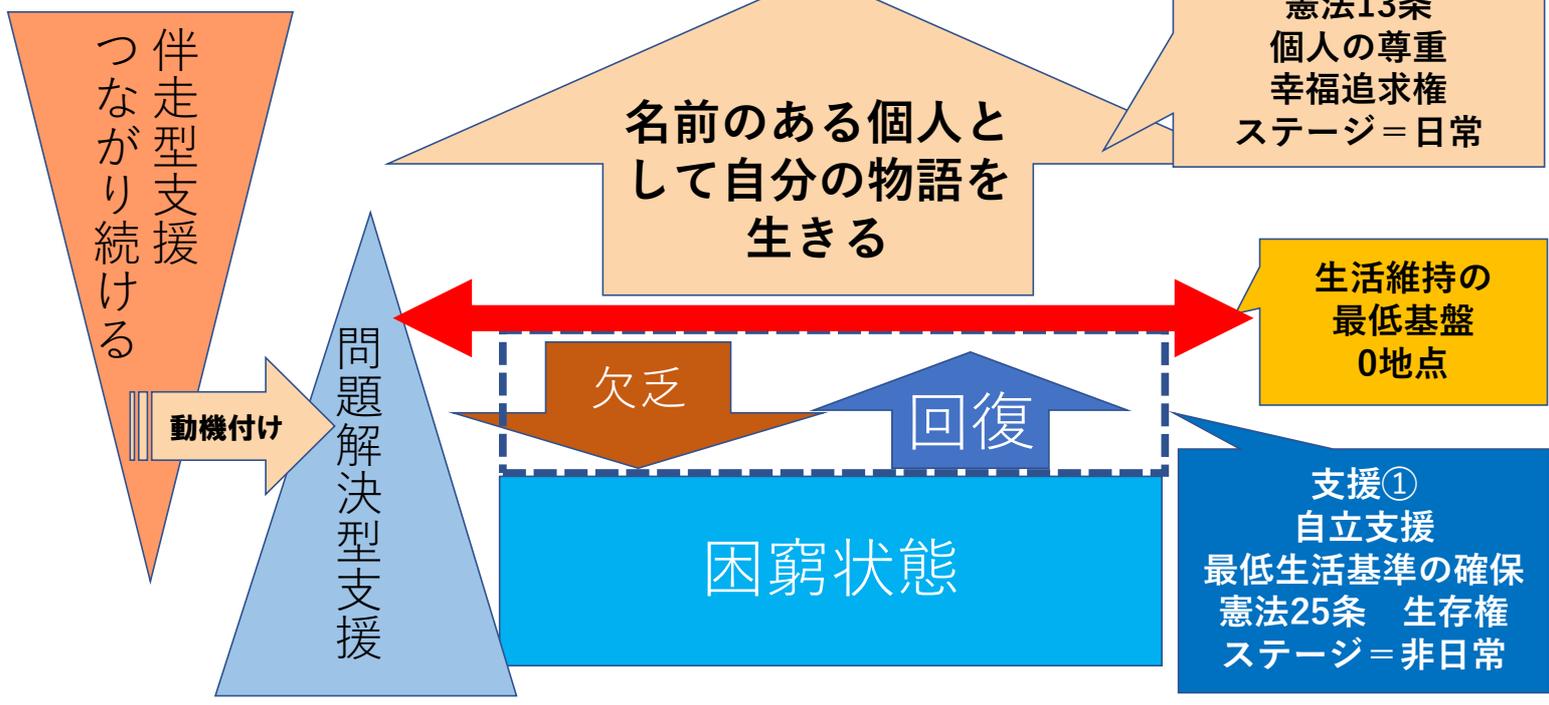
（菊池馨実著『社会福祉再考—<地域>で支える—』岩波新書）

■ある母子家庭のケース

👉何を食べたかは覚えていないが<誰と食べたかは忘れない

※伴走型支援 物を物語に変える支援・自律支援

支援における二つの支領域



孤立の時代に 一家族機能の社会化

昭和55年（1980年）

家族の風景

第1位



42%

第2位



20%

第3位



20%

（資料）内閣府男女共同参画局（2022）『結婚と家族をめぐる基礎データ』2022年3月2日

2020年（40年後）

单身増加
家族の不在

第1位



38%

第2位



25%

第5位



7%

（資料）内閣府男女共同参画局（2022）『結婚と家族をめぐる基礎データ』2022年3月2日

病気の時や日常生活に必要な作業について頼れる人の有無 (国際比較)

(※複数回答)

	60歳以上の単身者が頼れる人 (2015年)				
	別居 家族	友人	近所の人	その他	頼れる人 なし
日本	67.3%	21.1%	15.8%	7.0%	12.9%
米国	55.9%	48.0%	27.0%	9.2%	13.1%
ドイツ	63.3%	46.0%	45.0%	5.9%	6.1%
スウェーデン	58.0%	49.1%	30.1%	9.6%	9.2%

(資料) 藤森克彦(2016)「単身高齢世帯(一人暮らし高齢者)の生活と意識に関する国際比較」(内閣府政策統括官(共生社会政策担当)『高齢者の生活と意識—第8回国際比較調査結果報告書』2016年3月)。

地域包括ケアシステムの前提



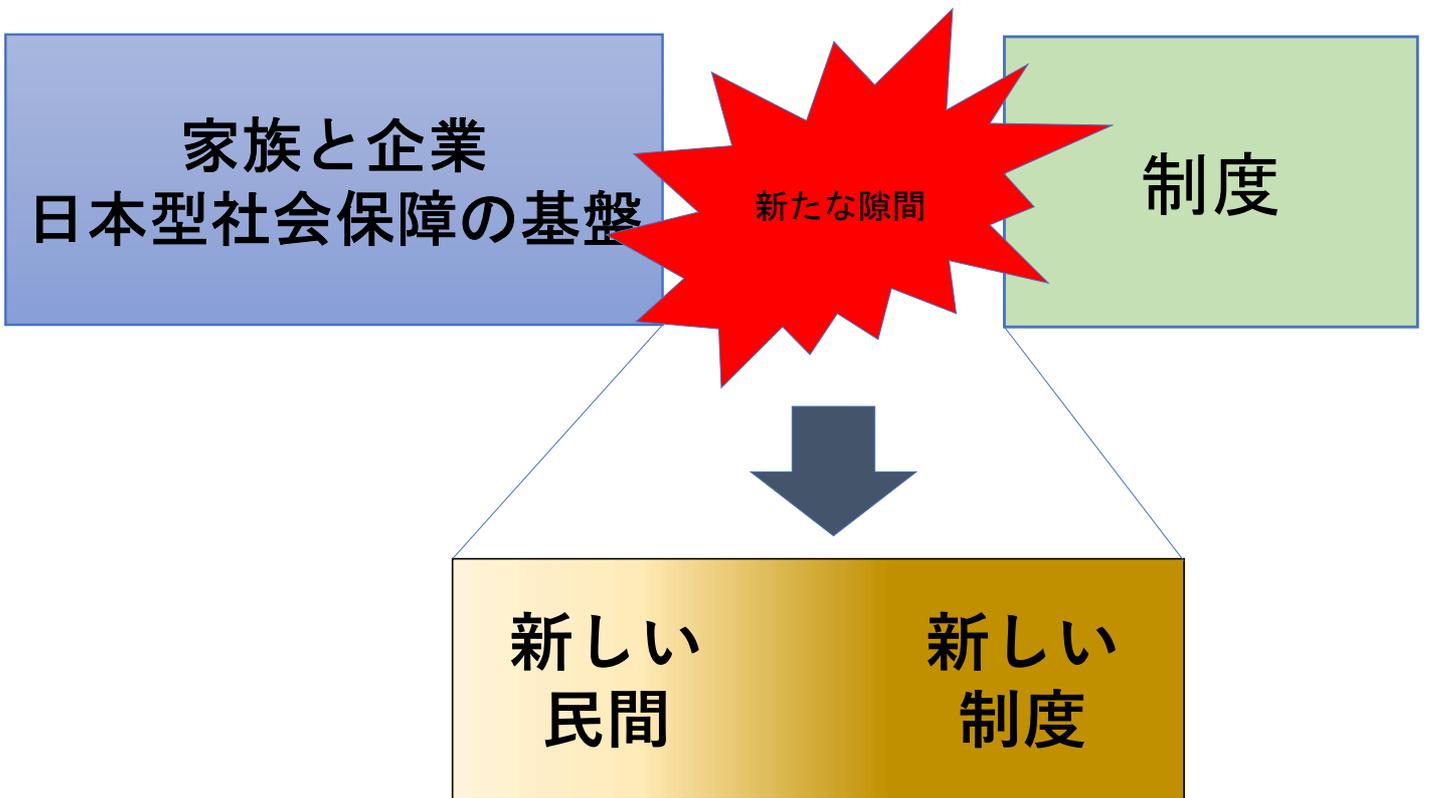
ここが
ある前提

すまい・すまい方・生活
支援など生活基盤
がある
↓
医療介護サービスなど
が効率的・効果的に
提供できる

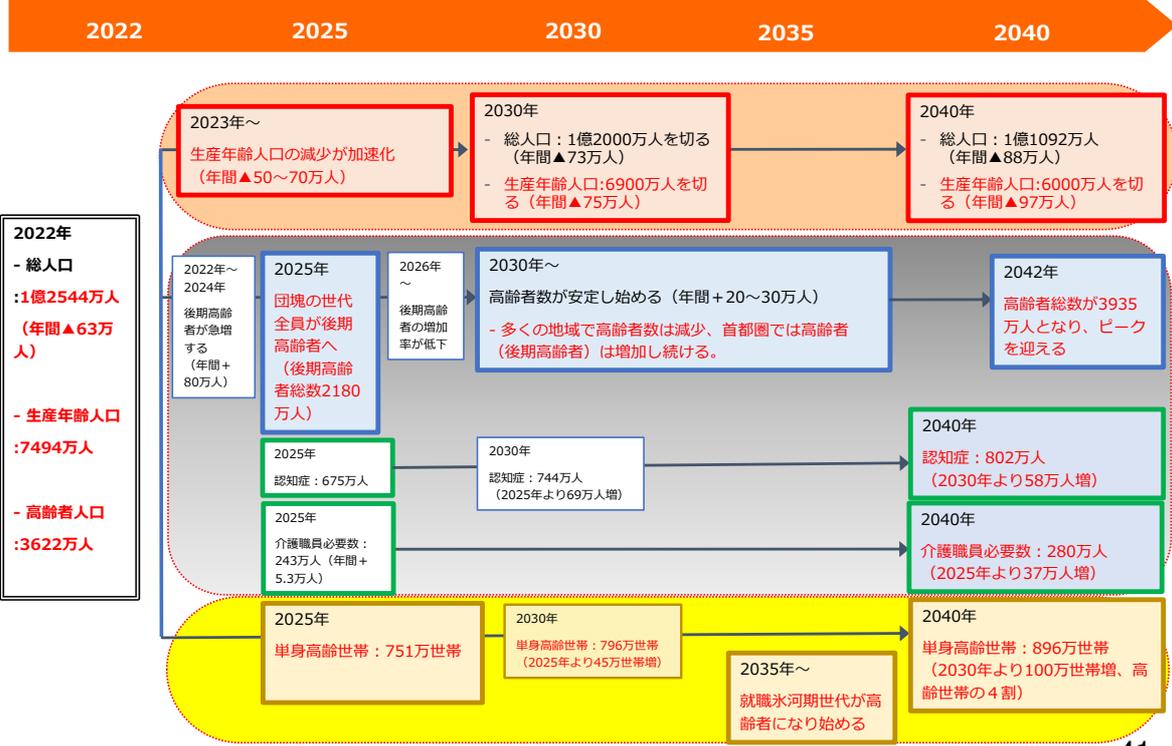


この前提で葉っぱが青々と茂る？
しかし、その前提が無くなったら、弱くなったらどうする？

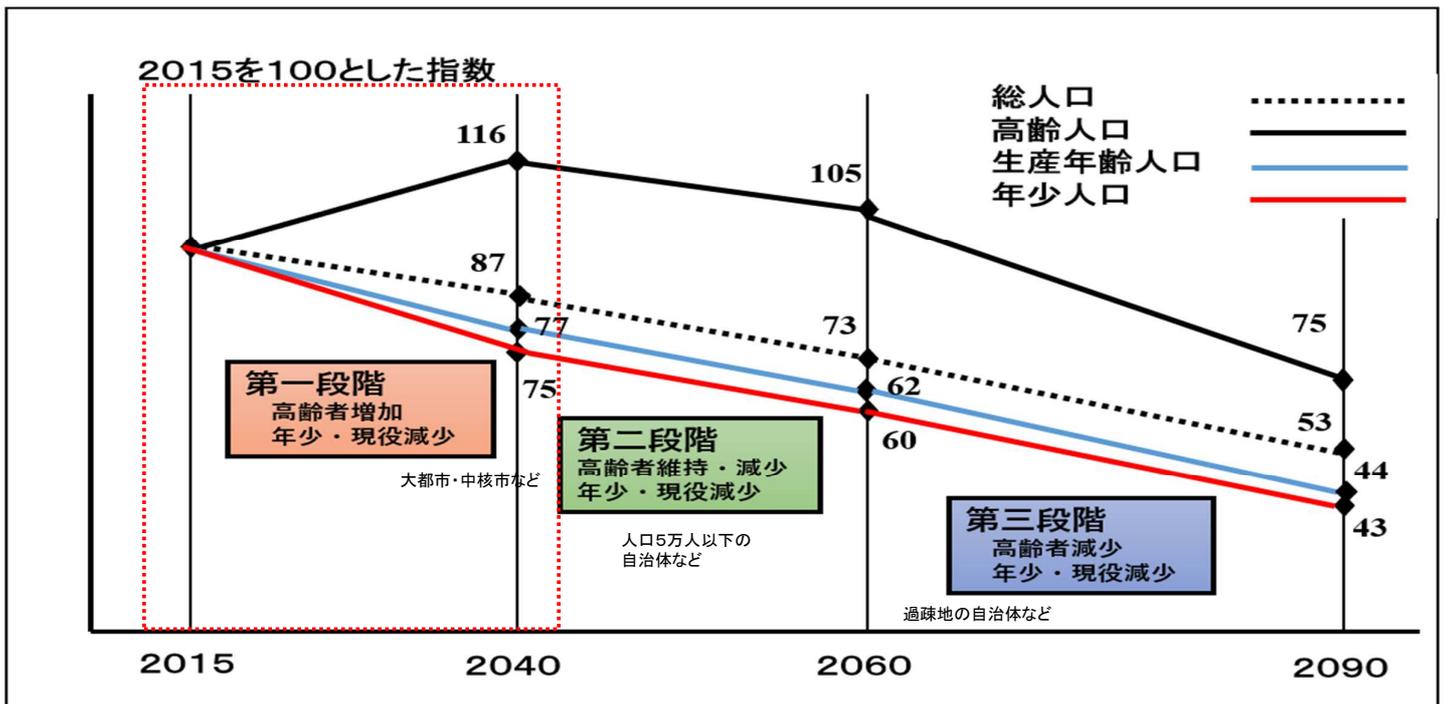




将来の社会動向を視野にー2040年までの人口等に関する短期・中期・長期見通し

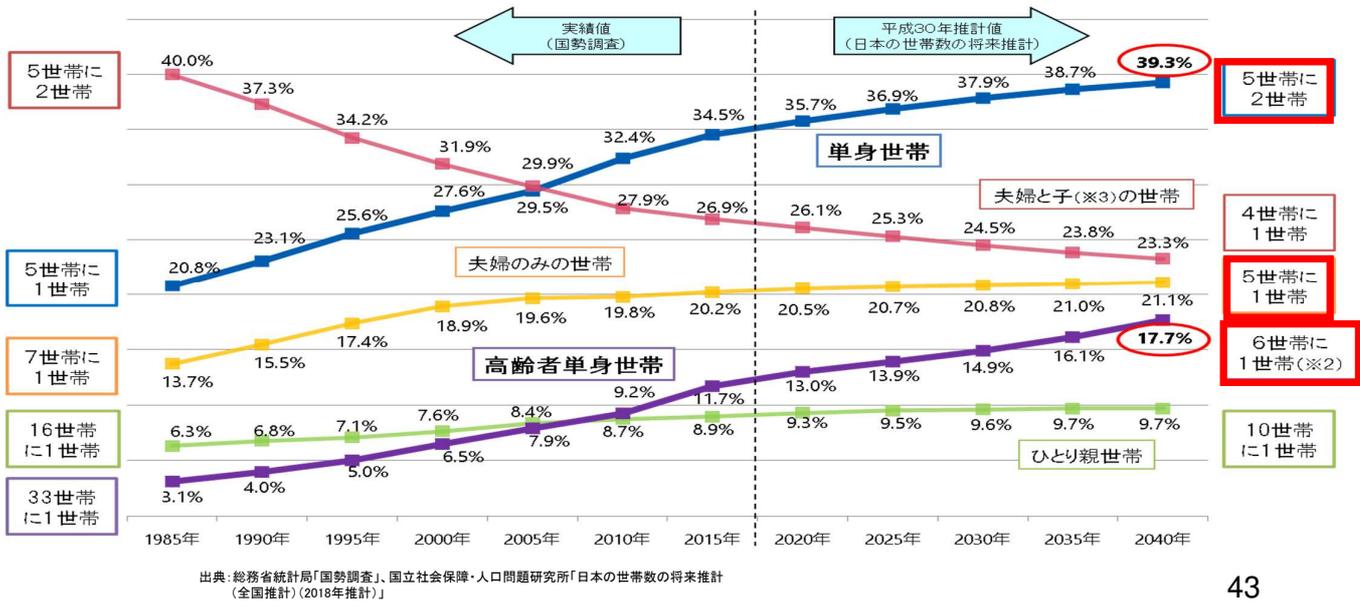


人口減少の進み方(3つの段階)ー「時間軸」と「地域軸」



世帯構成の推移と見通し

- 単身世帯、高齢者単身世帯、ひとり親世帯ともに、今後とも増加が予想されている。
- 単身世帯は、2040年で約4割に達する見込み。(全世帯数約5,333万世帯(2015年))



家族機能の社会化

家族(家庭)モデルの5つの機能

①家庭内サービス提供

サービスの提供・・・住居、食事、睡眠、看護、教育、服飾、介護
※この部分の社会化も進行中・・・ファミマお母さん食堂、介護保険

②記憶の装置

記憶・・・アイデンティティとデータベース

③家庭外資源活用一つなぎ・もどしの連続的行使

家族のニーズに応じた社会的資源をコーディネート
もどし機能・・・社会資源淘汰機能

④役割と意味の付与・・・自己有用感確保・相互性の担保 助けられるから助けるへ

⑤何気ない日常(葬儀まで)・・・問題解決ではなく、生活そのもの

日常生活支援と言う新たな分野

※良い社会とは？・・・赤の他人が葬儀を出し合う社会

生活サポートセンター(専門職)

👉
買い
同行
支援



👉
月に
一回
行わ
れる
世話
人会
の様
子

金銭管理支援👉



👉
投薬
管理
支援



支援内容と実績

①就労支援・定着支援

2020年度離職者21名、再就職者26名
職場との連携・・・無断欠勤時の訪問確認

②住居支援

相談対応 近隣トラブル対応
大家や管理会社との連携
転居支援・・・転居59名の支援

③福祉事務所等の連携による支援

保護CWとの協働

④健康・保険支援

健康状況の把握と助言。
受診同行、服薬管理、病院との情報共有

⑤親族・地域との交流支援

親族との連絡、再会支援
地域住民(民生委員含む)との交流支援

⑥他法活用による支援

年金の受給申請、雇用保険、傷病手当申請
障がい者手帳の取得支援

⑦法律・人権支援その他

債務の法律相談、逮捕拘留時の弁護士連携(定着支援センターとの連携)

⑧定期訪問

データベース3ヶ月記載なし基準)

いつでも相談できる体制

買物同行 孤食防止・・・「お昼ご飯を一緒に支援」

⑨互助会連携

世話人会が、行事カレンダー等を毎月 訪問配布
葬儀は、互助会葬で実施

⑩看取り等支援

自立の5本柱

「自立した者は一人で死なない、一人で死なせい」

葬儀社連携、宗教の連携(葬儀、納骨)

(路上7割、自立後5割で無縁仏)

⑪金銭管理支援

アディクション対応(ギャンブルやアルコールなど)

本人同意前提で金銭管理実施

定期来所はケアのチャンス

自立支援法の「家計支援」とは違う

⇒後見人の手前を支援

昨年の年間対応件数14,212件 (369名)

日常的金銭管理221名

(毎日3名、週3回4名、週2回13名、週1回80名、月3回2名、月2回54名、月1回40名、その他23名)

地域互助会—家族機能の社会化

- ①誰でも入会可能 年会費6000円(月額500円)
- ②会員数270名(内当事者:なかまの会 100名)
- ③世話人20名 見守り活動(定期訪問)
- ④年間行事 バス旅行、花見、新年会、誕生日会
- ⑤サロン 卓球(毎週)、カラオケ(毎週)、かふえ(毎週)
- ⑥看取りと葬儀 互助会葬と偲ぶ会(追悼集会)

⇒大家の安心へ

地域互助会👉地域の中ででのささえあい



ゴーイングホームデイ 大運動会



互助会葬・偲ぶ会

👉 葬儀は家族の役目？





**地域共生社会とは？
…赤の他人が葬儀を出し合う社会**



共同代表
向谷地 生良さん

日本福祉大学で伴走型支援の
講座受講者を対象に
スクーリング(一泊二日)を提供しま
す。
スクーリング受講者は、
「伴走型支援士」の認定証を
受けることができます。



共同代表
奥田知志

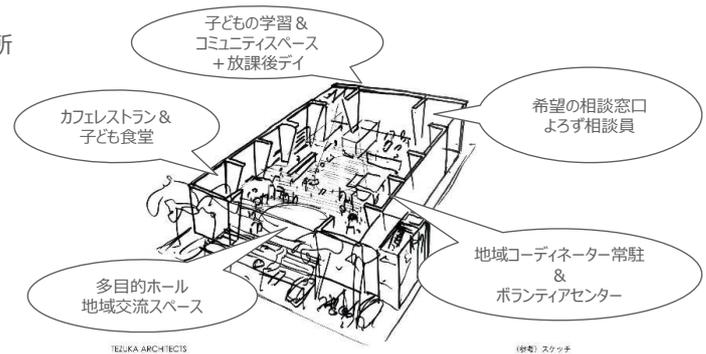
一般社団法人
日本伴走型支援協会

希望のまちの概要



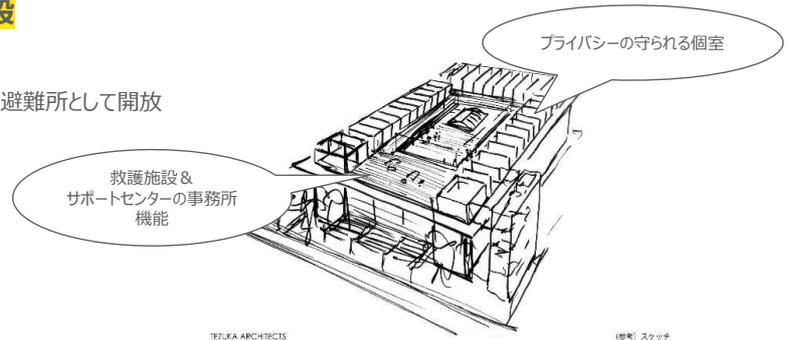
1階 大ホール

子どもや地域の人との交流場所
相談の入り口となる場所



3~4階 救護施設

安心して暮らせる施設
災害時には地域住民に避難所として開放



施設のイメージ



建築と コミュニティデザイン

設計監理 手塚貴晴+手塚由比

OECD(世界経済協力機構)とUNESCOにより世界で最も優れた学校に選ばれた「ふじようちえん」を始めとして、子供の為の空間設計を多く手がける。

近年ではUNESCOより世界環境建築賞(Global Award for Sustainable Architecture)を受ける。手塚貴晴が行ったTEDトークの再生回数は2015年の世界7位を記録。

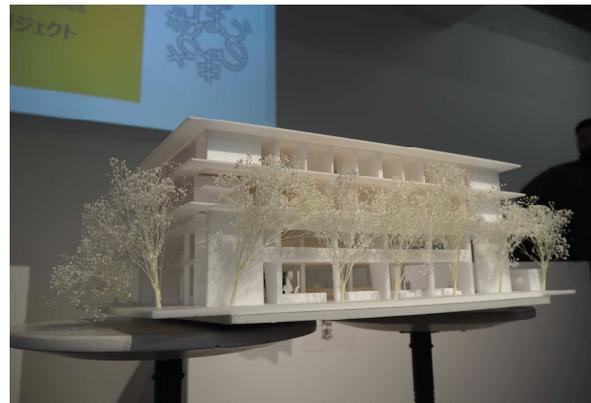
国内では日本建築学会賞、日本建築家協会賞、グッドデザイン金賞、子供環境学会賞などを受けている。手塚由比は文部科学省国立教育政策研究所において幼稚園の設計基準の制定に関わった。



コミュニティデザイン 山崎 亮

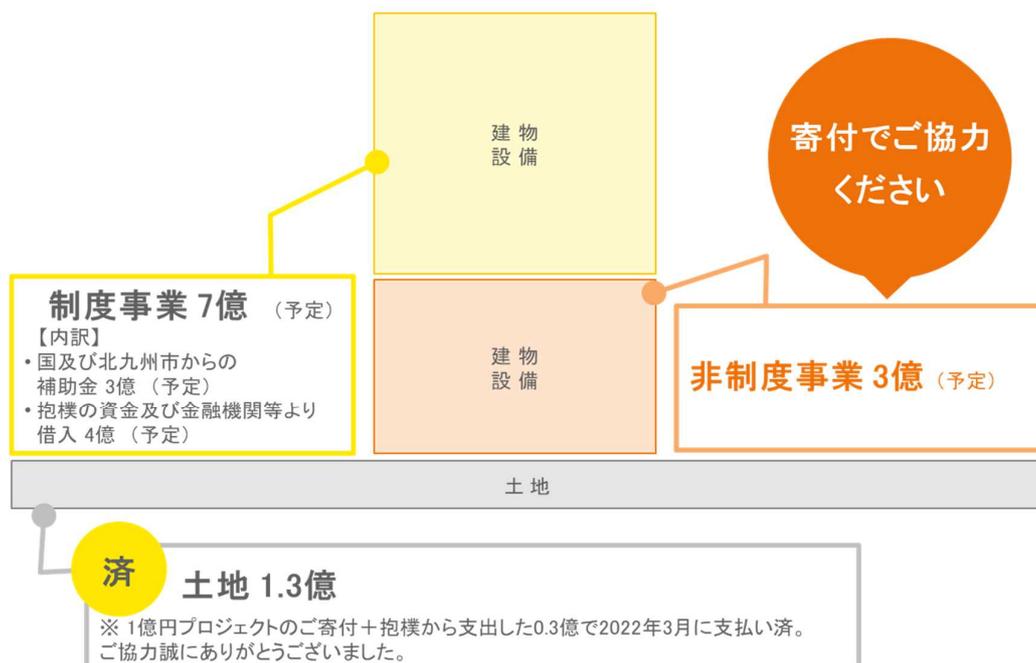
studio-L代表。コミュニティデザイナー。社会福祉士。

1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。





建築事業費 10億 (予定)



「希望のまち推進協議会」

2022年7月始動

NPO抱樸、北九州市社協、高齢社会をよくする北九州女性の会、
ライフアゲイン（フードバンク）、子ども食堂ネットワーク

今後も参加団体募集

様々な方々とチームを組んでまちづくりを進めます

2024年秋

希望のまち一号始動

この国の先駆けとして

希望のまちのたまごが始動しました



抱樸YouTubeチャンネル 登録ください！
現在一万人突破

路上で会う
ということ

奥田知志 (抱樸理事長) × 内田樹 (作家)

オンライン対談

#ほうぼく

5月24日(月)20:00～

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル

弱さとは何か？

奥田知志 (抱樸理事長) × 永井玲衣 (医学研究者)

オンライン対談

#ほうぼく

9月27日(月)20:00～

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル

複雑さを
切り捨てない

奥田知志 (抱樸理事長) × 望月優大 (ライター)

オンライン対談

#ほうぼく

12月27日(月)20:00～

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル

#「助けて」
というのは
なぜ
難しいのか

奥田知志 (抱樸理事長) × みたらし加奈 (社会学者)

オンライン対談

#ほうぼく

11月9日(月)20:00～

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル

分かり
合えないこと
から始める

奥田知志 (抱樸理事長) × 平田オリザ (劇作家)

オンライン対談

#ほうぼく

2月28日(月)20:00～

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル

呼びかけ続ける
ことの意味
～対話とは何か？

奥田知志 (抱樸理事長) × 藤原辰史 (ライター)

オンライン対談

#ほうぼく

4月12日(月)20:00～

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル

社会は
なぜ必要
なのか？

奥田知志 (抱樸理事長) × 宮台真司 (社会学者)

オンライン対談

#ほうぼく

1月11日(月)20:00～

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル

弱さを
受け入れる
ことについて

奥田知志 (抱樸理事長) × モモコグミカンパニー (会社)

オンライン対談

#ほうぼく

3月14日(月)20:00～

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル

希望について～抱樸に行って感じたこと

奥田知志 (抱樸理事長) × eri (アーティスト)

オンライン対談

#ほうぼく

4月25日(月)20:00

YouTube NPO法人 抱樸 チャンネル



有斐閣
2200円



本の種出版
2200円



新教出版
1980円

新刊が出ました！
収益は、NPOの支援に充てられます。

応援ください！！

①NPO法人抱樸の取り組み

検索👉「ほうぼく」

②認定NPO法人への寄付

1) マンスリーサポーター

2) 都度寄付

3) 法人会員

⇒ 所得税控除の対象



**ご清聴ありがとうございました。
ございました。**